

2026年6月議会



ただいま 手袋のまち

東かがわ市

議会だより 90号

Report of City Assembly

2026年7月発行
(令和8年)

電子表決が
スタートしました
3ページ

10月18日に
議会報告会を開催します
16ページ

山田海岸

令和8年 第3回定例会

6月3日～23日開会

報告6件、承認4件、条例3件、補正予算3件、その他1件、人事1件の
合計18件が提出されました。

議案第3号は、総務建設経済常任委員会、
議案第4号、議案第7号は、予算審査特別委員会に付託されました。

委員会に付託された議案を除く主な内容を紹介します。

議案第1号

東かがわ市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について

○出入国管理及び難民認定法等の改正に伴い、新たに個人番号カードとして機能する特定在留カード等が交付されるようになる。特定在留カード等を使用し、コンビニエンスストア等の多機能端末により印鑑登録証明書の交付を受けることができるよう所要の改正を行うもの。

議案第2号

東かがわ市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

○多機能端末機で特定在留カード等による証明書の交付に関する手数料の規定を追加するもの。
○年金受給者の現況届における住民票記載事項の証明について交付手数料を徴収するため所要の改正を行うもの。

議案第5号

令和8年度東かがわ市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について

○歳入歳出ともに7,541万3千円を減額し予算総額を50億4,

378万5千円とするもの。介護保険法施行規則の改正に伴う負担限度額見直しに伴うシステム改修費用など。

議案第6号

東かがわ市教育委員会委員の任命について

○山本勝博氏の任期満了に伴い、引き続き同氏を任命することについて同意したもの。任期は、令和8年6月27日から令和12年6月26日までの4年間。

議案第8号

財産の取得について

○小型動力ポンプ付積載車2台を取得するもの。指名競争入札の結果、取得金額は3,520万円。取得した車両は、白鳥方面隊第3分団及び大内方面隊第5分団に配備する予定。

発議第1号

東かがわ市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について

○議員が当事者となるあらゆるハラスメントの防止・根絶に努め、市民から信頼される議会の実現を目指すため規定を追加するもの。

議案第3号

本会議において質疑が行われました。主な内容は次のとおりです。

問 使用料改定で影響を受ける利用者層について。

答 施設ごとの規模や機能に応じて料金を見直したもので、上がる施設も下がる施設もある。使用料の改正は全ての利用者が影響を受けることになる。

問 コミュニティセンターの利用料金は統一されるのか。

答 利用者の平等性を担保しつつ、利用料金の統一を図っていく。

問 利用者への説明は行ったのか。

答 市公民館運営審議会や各コミュニティ協議会と協議を行った。今後も広報紙やホームページなどで周知を進めるとともに施設への掲示、利用団体への個別周知など丁寧な周知する。

問 使用料の減額または免除ができるのはどのような場合か。

答 全額免除については、市や教育委員会の主催または共催により利用する場合などそれぞれの規則で定める。半額免除については、市内に所在する団体が生涯学習、健康づくり及び地域福祉の活動に利用する場合になる。

問 営利目的とは何を指すのか。

答 事業者が営利等を目的として使用する場合は、講師が職業として提供する場合があります。収益を目的とした利用を想定している。

問 市外利用者はどのように確認するのか。

答 利用申請書に記載された住所により確認する。

本会議で電子表決を

導入しました

令和8年3月定例会において、東かがわ市議会会議規則を一部改正し、押しボタンによる投票（電子表決）が可能となりました。

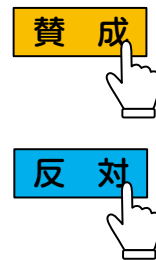
これにより、令和8年6月定例会で初めて、本会議における採決を賛成・反対の押しボタンによる投票で行いました。

電子表決の導入により、採決結果が議場内の大型モニターや映像配信画面にも表示され、傍聴される方や映像配信をご覧になる方にも、分かりやすく確認していただけるようになりました。また、議長による賛否の多少の判定がより正確になるとともに、議会運営の透明性向上にもつながります。

なお、委員会における採決につ

いては、従来どおり起立による表決を行っています。

今後市民の皆さまに分かりやすく、円滑な議会運営に努めてまいります。



予算審査特別委員会

第3回定例会において付託された議案の主な審査の内容は次のとおりです。

議案第4号

令和8年度東かがわ市一般会計補正予算（第1号）について

審査日 令和8年6月8日

1億7,724万6千円増額し、180億8,213万4千円とする。

主な質疑の内容は次のとおりである。

【総務課】

○未来投資応援事業の事務補助職員

問 雇用期間はどの程度か。
答 6か月を予定している。

【財務課】

○低濃度PCB廃棄物の処分

問 これまでは廃棄はなかったのか。
答 これまでも廃棄する案件はあった。施設改修や解体工事の際に発見した場合は、その都度適切に

各課で処理してきた。

問 今後高濃度PCBが見つかった場合は。
答 各施設で保管し、県へ届出をすることになる。

答 各施設で保管し、県へ届出をすることになる。

【税務課】

○税務システム改修

eLTAX対応、国税連携対応、納税通知書電子化対応の3件。

問 運用開始時期は。
答 9月運用開始が目標である。

【危機管理課】

○自治会集会所整備補助金

町田自治会の自治会館大規模修繕の申請に対し交付する。

○自主防災組織助成金

浜町自治会の発電機やリヤカーなど防災資機材の整備に対し交付する。

【地域創生課】

○未来投資応援補助金

物価高騰等の影響を受けている市内事業者の将来に向けた設備投資を支援する。補助金上限50万円、

補助率4分の3、申請受付期間は7月1日から8月31日まで、先着順でおよそ100者を予定している。

問 先着順とはどのような仕組みか。

答 受付順に審査し、予算に達し次第で終了する。

問 職員だけで審査できるのか。

答 商工会や香川県よろず支援拠点の協力を得る。

問 上限50万円、100者の根拠は。

答 県の事業を参考に、広く意見も聞いて制度設計した。

問 個人事業主の賃上げ要件は。

答 個人事業主は賃上げを要件から外す。

【福祉課】

○生活保護追加給付

最高裁判決を受け、平成25年生活扶助基準改定に伴い影響を受けた受給者に対し追加給付する。

問 対象世帯数は。

答 令和8年4月1日時点の受給世帯162世帯、平成25年8月以降廃止となった世帯63世帯、合計225世帯である。

【こども家庭課】

○福祉医療システム改修

問 何を改修するのか。

答 所得判定に新たな控除項目を追加する。

【教育総務課】

○給食センター調理・配送業務委託契約

問 委託費増加の理由は。

答 人件費上昇が一番の要因である。

【生涯学習課】

○温水プール騒音対策等請求事件の弁護士費用

問 勝訴と理解してよいのか。

答 原告請求は全て棄却され、市側主張が認められた。

以上、慎重に審査した結果、原案どおり可決した。

議案第7号

令和8年度東かがわ市一般会計補正予算（第2号）について

審査日 令和8年6月23日

2,570万円増額し、181億783万4千円とする。

主な質疑の内容は次のとおりで

ある。

【教育総務課】

○学校体育館の空調設備及びLED化実施設計について

市内小中学校6校の体育館への空調設備整備と、白鳥小中学校を除く体育館照明のLED化に向けた実施設計を委託する。

問 体育館照明のLED化はどのように進めるのか。

答 既存設備で活用できるものは活用し、必要に応じて器具本体の更新も含めて実施設計の中で検討する。

問 空調設備はすべて電気式で計画しているのか。

答 体育授業やスポーツ利用を想定した検討の結果、初期費用や維持管理費などを総合的に判断し、6校とも電気式で実施設計を行う予定である。

問 災害時の停電対策はどのように考えているのか。

答 発電機を接続して使えるよう実施設計の中で検討する。

問 発電機は各施設に設置するか。

答 設置方法や台数については、必要な電力容量や施設配置を踏ま

え、実施設計の中で検討する。

問 ガス式空調について検討したのか。

答 ガス式と電気式を比較した結果、今回の利用条件では電気式が安価と判断したため、電気式による整備を提案している。

問 他自治体ではガス式を採用している事例もあり、費用面についてさらに調査すべきではないか。

答 市としては、現在の試算では電気式が安価との結論に至っており、今後の実施設計においても、より安価となる機器や方式を検討していく。

問 空調とLED化の設計費の割合は。

答 空調設備が約8割、LED化が約2割と考えている。

問 入学式や卒業式等の時期の利用にも対応できるのか。

答 暖房運転も可能な機器で、入学式等の時期も想定している。

問 設置は地方債で賄うのか。

答 財務課で有利な起債計画をして財源を段取りできるよう調整していきたい。

以上、慎重に審査した結果、原案どおり可決した。

総務建設経済常任委員会

付託された議案の主な審査の内容は次のとおりです。

審査日 令和8年6月4日

議案第3号

東かがわ市公共施設使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

公共施設の使用料については、物価高騰や消費税率の改定など社会情勢の変化に対して随時検討してきたが、類似施設でありながら使用料や減免の基準などに差が発生していることが課題であった。

このたび、市民が使いやすい施設とするため、利用における統一した基準を定め、ガイドラインを作成した。使用料の額については、施設の種類と部屋などの対象規模により区分を設け、1時間当たりの金額を設定した。改正前後を比較すると、同額が約40%、100円以内の増額が約16%、100円を超える増額が23%、100円以内の減額が約8%、100円を超える減額が約11%であるとの説明を受け、質疑を行った。

問 施設を使用する場合、準備・片付けの時間も使用時間に含まれるのか。

答 占有して使っているので、準備・片付けの時間も使用時間に含まれる。

問 市民への周知は、いつからするのか。

答 7月または8月あたりから周知をしていく。

問 今回9つの条例の改定について、市民への周知が今年の夏頃になり、料金改定が来年4月からの施行であるため、利用者と各施設の管理者との間に混乱はないのか。

答 周知方法については、広報や公式アプリ、ホームページで周知をしていき、利用団体にもできる限り説明をしていく。また、運営する側にも趣旨等がブレないよう丁寧の説明をしていく。

以上、慎重に審査をした結果、討論はなく、原案どおり可決した。

民生文教常任委員会

開会中の調査

調査実施日 令和8年5月11日

小中学校体育館の空調設備の整備について

空調設備導入に係る基本設計検討事項、設置の比較ポイント、導入に係る検討資料、発注方式の検討、事業計画スケジュール等について説明を受け、質疑を行った。

問 動力の検討で、電気式を選択した理由は。

答 イニシャルコスト、ランニングコストともにガス式より安価に導入できる。また、メンテナンス費も低く、振動、騒音が小さい等の検討結果をふまえ電気式が優位とした。

問 災害時の対応は。

答 停電時には、発電機で対応する。発電機の設定方法については、実施設計の中で検討する。

問 15年間のトータルコスト、動力の年間消費量等、詳細な比較検討資料を示してほしい。

答 より詳細な各小中学校分の資料を提出する。

開会中の調査

調査実施日 令和8年6月5日

小中学校体育館の空調設備の整備について

小中学校体育館の空調設備にかかるトータルコストの比較検討資料、消費量算定資料等について説明を受け、質疑を行った。

問 学校体育館は広域避難所に指定されているが、避難所としての想定はどう考えているか。

答 避難所としてはもちろん使用する。しかしながら、今回の整備は、コスト面も鑑み、政策判断として災害想定よりも学校教育を優先として考えている。

問 動力は電気式を選択することのことだが、高額と考える。有効的な空調方式に関しての検討は考えているのか。

答 通常の機種に加え、新たな機種についても経済比較し、今後の実施設計の中で導入を検討していく。

市役所窓口開庁時間の短縮について

年内をめどに窓口の開庁時間短縮を検討する



堤 弘行

問 近年、全国の自治体において、仕事と生活の調和であるワークライフバランスを実現するため、窓口開庁時間を短縮する動きが広がってきている。一方で、窓口開庁時間の短縮により、日中に来庁が難しい勤労世帯にとっては、行政サービスや利便性の低下を招くおそれもある。本市では、どのように考えているのか。

答 昨年11月に、来庁される市民の皆様の時間帯別人数を調査した。その調査結果を踏まえて、年内をめどに窓口の開庁時間短縮を開始することができるよう、検討を進めている。

問 東かがわ地域経営機構等との三者連携協定について
今年5月、本市は、東かが

わ地域経営機構及びジオテクノロジーズ株式会社と、本市の「特産物」と豊かな自然の中で得られる「感動体験」の認知度を高め、関係人口の創出・拡大を目指すことを目的とした三者連携協定を締結している。ジオテクノロジーズ株式会社が、アプリの位置情報に基づく各種データから観光振興やPR方法などの政策立案を連携し、そのデータを根拠にして有効な政策につなげていく目的である。そこで、どのような「感動体験」を目指しているのか。

答 豊かな自然や歴史を通じて、「またこのまちを訪れたい、関わり続けたい」と思っていたできるようにしていく。

問 こども園の地震対策強化について
本市の現状はどうなっているのか。

答 公立及び私立の各こども園で転倒防止ベルト等の転倒・落下防止対策をしている。

中学校部活動の地域展開について

全ての生徒が参加できるように、丁寧に地域展開を進めている



工藤 潔香

問 国が進める部活動改革は、「改革推進期間」が終了し、新たに「改革実行期間」がスタートしている。そのことを踏まえ、以下について伺う。

①休日における地域展開の進捗状況は。②現在、地域展開されていない種目の今後の方向性と展開時期は。③地域クラブやスポーツ少年団が運営している社会体育種目（バドミントン、水泳、陸上など）の取扱いと今後の方向性は。

答 ①平日における拠点校方式を広げ、在籍校の違いによる部活動の選択肢の差異をなくす取組を進めている。②令和9年9月から、休日における全ての部活動を地域展開する。③認定地域クラブとして市が登録し、学

校部活動種目と同等の活動ができるよう、環境を整備していく。
問 ①今後の課題と対応の方向性について。②家庭の経済格差で部活動の機会が失われる可能性について。

答 ①まずは専門性のある指導者の確保が急がれており、報酬や働き方の整備、研修制度の設計に取り組んでいる。次に保護者負担の増加について理解をいただくとともに、国や県の補助について引き続き要望していく。②家庭の経済的状況によって子どもたちの活動機会が左右されることは、あってはならない重要な課題と認識している。全ての生徒が希望する地域クラブ活動に参加できるよう、参加費の負担軽減、制度の充実など、持続可能な制度のあり方を検討していく。

問 ニーズ調査や周知について
答 児童生徒や保護者の意見を聴きながら丁寧に地域展開を進めている。

県立三本松高等学校について

後押しをする



田中 貞男

問 県立三本松高等学校について。また、さぬき市では3高校が統合し2030年に一つの高校になる。東かがわ市へ与える影響をどう考えているのか。

答 連携を一層深め、教育環境の整備や必要な支援に努め、学校関係者や地域住民と十分に協議を重ね、県教育委員会に必要な働きかけを行う。県立三本松高等学校の生徒確保の面で競争相手となる。注視していく。

問 市は地域連携教育推進事業として県立高等学校振興助成金を交付している。内容を拡充する考えはあるのか。

答 県立三本松高等学校においては、学校の魅力化や特色づくりに取り組んでいる。市は包括連携協定を締結して、同校の教

育活動が充実するよう取り組んでいる。地域連携や教育環境充実の後押しをしていく。

問 他自治体の事例として、広島県安芸太田町は、高等学校に様々な支援をし、将来的な存続を協議する組織を立ち上げているが、東かがわ市はどうか。

答 組織の在り方や支援の方法について県教育委員会と共同し探っていく。

地域通貨カードを作る考えは

問 令和7年度東かがわPay Superプレミアム付デジタル商品券事業及び令和8年度東かがわPay Superプレミアムポイント事業のそれぞれの申込者数は。

答 Superプレミアム付デジタル商品券事業は3,512人、Superプレミアムポイント事業は3,793人。

問 地域通貨カードを作っては。カード形式の導入予定はない。

子どもの遊び場について

既存資源の有効活用にも努める



小松 千樹

問 子育て世代からは「雨の日や真夏でも、子どもが思い切り体を動かして遊べる屋内の遊び場が市内に欲しい」という切実な声がある。

市に対して遊び場についての要望はあるか。

答 「屋内での遊び場が少ない」や「土曜日、日曜日、祝日に遊べる場所を充実させてほしい」といった声は複数寄せられている。

問 公共施設の再配置や統廃合に伴う「未利用スペース」を活用し、全天候型の屋内子ども遊び場を整備する考えは。

答 まずは、とらまるパペットランドなど市内にある子どもの遊び場や、親子で出かけることができる施設等を有効に活用し

ていただけるよう周知に努めており、引き続き子育てガイドブック等を活用しながら、情報発信の強化に取り組んでいく。

屋内での遊び場として、平日は市内6か所の認定こども園に子育て支援センターを開設しており、土曜日、日曜日及び月曜日に東かがわこどもひろばを開設し、育児相談や身近な交流の場づくりを推進しており、既存資源の有効活用にも努めていく。



旧白鳥温泉の再開に合わせ バス路線の復活を

継続して協議を行う



東本 政行

問 旧白鳥温泉は来年夏頃に再開される予定であり、多くの市民が再開を楽しみにしている。特に高齢者からは、旧白鳥温泉までのバス運行復活を望む強い声がある。バス事業者はその声を早く届け、交渉を進めてはどうか。

答 休止の段階からバス事業者と継続して協議を行っている。

学校での主催者教育について

問 名護市辺野古沖で、平和学習視察中に行った事故に対して、文科省は教育基本法違反とする「見解」を発表した。教育長はどう捉え、萎縮するなど影響はないか。主催者教育では、先の戦争の真実と、その上に制定された日本国憲法をどう教えているか。

答 多面的・多角的な視点に配慮する重要性を確認した。平和教育の取組では、大きな問題は見込んでいない。

予備自衛官等兼業特例法成立後の市職員への影響について

問 今回の「特例法」で市職員は任命権者の許可がなくても、予備自衛官等の任務につくことになる。国による命令に、地方を従わせるものになると思うがどうか。

答 国から発出される文書や本市の実情を踏まえ、適切に対処していく。

市の施設におけるトイレ設置数の男女差の適正化を

問 国交省は女性トイレの行列問題を解消するため、男女同数以上にする指針を決定した。市の施設でも男女トイレ数の適正化に取り組んではどうか。

答 施設の用途や利用者の属性等を踏まえて、快適にトイレが利用できる環境に向け、努めていく。

改正地域公共交通活性化再生法について

自家用有償・ボランティア輸送、ライドシェアなどは移動手段の確保として有効と考えるが課題もある



大田 稔子

問 高齢化や免許返納が進む中、日常生活を支える移動手段の確保は重要な課題である。地域住民による移動支援等、地域の実情に応じた新たな移動支援の仕組みの検討は。

答 改正法により地域の輸送資源を活用することが可能となり公共交通空白地の解消が進めやすくなった。スクールバスの活用は有効な解決策であるが課題もある。地域との連携は、地域公共交通活性化協議会の場で検討していく。

芝桜の名所について

問 本市には、個人が整備を続けてこられた芝桜の名所がある。高齢化により維持・継続が難しくなる。支援・連携は。

HILMOと連携して、バイ

パス開通に伴い芝桜と他の観光資源をどのように繋げていく考えか。

答 人気スポットであり、市の観光資源の一つである。相談等があれば可能な範囲で必要な支援を講じ支えることに繋がるよう効果的な取組を進めていく。テーマ・ストーリー性の観点からHILMOと連携し県外からの観光客を見込む取組をしていく。

ファーストグローブ事業の再開について

問 瀬戸内国際芸術祭の手袋アートとの連携は、アートによる認知度向上と地域産業の価値向上を直結させる重要な取組と考える。シティプロモーション戦略と連動した形でファーストグローブ事業の再開を検討しては。

答 生産上や在庫の保管環境に関する課題や、生活に即した実用性を重視するニーズの多様化もあり、再開は難しい。

体験型・探求型の

校外学習の実施について

地元資源の活用を基本とする



橋本 守

文化資源を積極的に取り入れて実施する考えはないか。

問 現在の校外学習の行き先を選定するに当たり、学習指導要領に掲げられている「見聞を広め、自然や文化などに親しむ」という教育的意図は、具体的にどのように反映されているのか。

答 学年ごとに市外に出かける校外学習では、見聞を広めることや公共道徳を育む目的で、低学年では動物園や水族館、中学年では飛行場や歴史的文化施設、高学年では美術館や工場などに向いている。

問 地域愛着心の醸成の観点からも、郷土愛を育む「ふるさと教育」の視点も必要と考え、児童が地域の歴史的背景や自然環境、伝統的な芸術文化に触れる機会を増やすため、例えば、引田城跡、大坂峠など本市固有の

答 児童が、地域の歴史的背景や自然環境、伝統的な芸術文化に触れる機会を増やすことは、郷土への愛着と誇りを育む「ふるさと教育」の観点からも、極めて重要であると認識している。地域資源を活用した新たな学習プログラムの開発について研究する。

問 校外学習の行き先を選定する際、下見の調整や費用の負担が障壁となることが予想される。行き先の選定や情報提供等、教育委員会としてどのようなサポート体制を取るのか。

答 市内の校外学習を円滑に実施できるよう、児童の移動支援を積極的に行っており、学校の要望に応じて、スクールバスを有効に活用して支援を行っている。ふるさと教育の推進に当たっては、地元資源の活用を基本とし、学習機会の確保に努める。

東かがわPayの成果検証と

今後の展開について

定量・定性の両面から、経済効果の分析を進めていく



田中 久司

問 東かがわPayの導入成果をどのように評価しているか。

答 登録者6,553人、利用額約2億3,800万円となり、一定の域内経済循環を創出できた。

問 経済波及効果や市外流出抑制の状況は。

答 中小店舗での利用が半数を超え、利用者アンケートでも市外への流出抑制を確認できている。今後は利用データなどを活用した分析を検討する。

問 高齢者への対応は。

答 支援窓口の開設や説明会を開催しており、今後も丁寧な対応を継続する。

問 事業の持続可能性や今後の展開は。

答 デジタル給付を拡充すると

ともに、利用者や事業者など様々な主体と協働して本事業を運営していく。

問 ため池の防災管理及び水利組合の解散への対応について

答 ため池の管理状況や廃止基準は。

答 市はため池データベースにより状況を把握しており、廃止は受益地や老朽化など一定の条件を満たす場合に限られる。

問 管理者が不在となる場合の対応は。

答 管理協議会を設置し、新たな管理者の選定や管理方法について協議する。

問 高齢化や担い手不足への対応は。

答 報償金制度の検討など負担軽減を進めていく。

問 市の管理への関わり方は。

答 管理組織の弱体化は大きな課題であり、所有者としての市の関わり方を今後検討していく。

一般社団法人東かがわ地域経営機構の役割は、単に行政の補完をする組織ではなく、ハブとして機能させる



山口 大輔

問 事業については、目標、成果指標に照らし、優先順位を付け、選択と集中に取り組むべきではないか。

答 単なる人手不足の補填や事務局代行ではなく、商品化や情報発信、データ活用、企業連携など、専門性を発揮できる領域に集中すべきと考えている。

問 将来的にどのような地域経営組織として育成していく考えなのか。

答 観光振興、地域製品の販促、官民連携、人材・資金の呼び込み、地域資源を活用した事業づくりを横断的に担う「地域経営組織」として発展していくことを期待している。

問 地域経営組織とは、イベントを手伝う組織ではなく、人・

モノ・カネを結びつけ、地域全体の価値を高めるマネジメント組織だと考えている。この役割について、市民や地域団体へ積極的に発信し、単なる実働部隊ではなく地域をマネジメントしていく組織であるという共通認識を形成していくべきではないか。

答 質問のとおりと考えている。何かをやるときは事務局や、市内の企業や団体の単なる補完機能ではなく、しっかりと東かがわという地域を経営していくという思いを込めてHILMO（ヒルモ）という名前をつけた。その思いについては、同じ方向を向いていると考えている。

子ども・子育て支援」をふるさと納税の使途に明記しては

問 ふるさと納税の使途に子ども・子育て支援及び若者支援の明記を。

答 今後、使途項目全体の再整理に必要な調整を図る。

主権者の権利を守る支援のあり方について「投票支援カード」の導入を進める



久米 潤子

問 誰もが精神的な抵抗を感じることなく投票ができるよう「投票支援カード」を導入する見解を伺う。

答 本年8月執行予定の香川県知事選挙での導入に向けて準備を進める。

「手話リンク」の導入について

問 「手話リンク」とは、利用者が市ホームページに設置したバナー（ボタン）を押すと、事前登録なしで手話通訳オペレーターを紹介し、市の各部署へ問合せができるサービスである。このサービスは初期費用をかけず導入できることから、本市も市ホームページ等へ導入する考えを伺う。

答 令和9年度に市ホームページへの導入を進める。必要に応

じて他のデジタル媒体への可能性についても検討する。

認知症ケア技法「ユマニチュード」の普及と啓発について

問 本市が目指す「認知症になっても安心して暮らせる地域づくり」に有効と考え、福岡市で研修受講した認知症コミュニケーション・ケア技法の4本柱「見る」「話す」「触れる」「立つ」を普及・啓発する考えを伺う。

答 「ユマニチュード」を参考にしながら、介護の専門職や在宅介護を必要とする家族に情報提供を検討したい。市民一人一人が認知症への理解を深め、適切な接し方を身につけるような内容の周知・啓発に努める。小学校における福祉教育の出前授業においても体験的な内容を盛り込めるよう研究していく。市職員においては、安心感を与えられるコミュニケーション能力の向上のため、研修等の実施に向けて検討を進める。

AI時代における情報モラル教育と 道徳教育の在り方について

人間としての生き方を主体的に考え抜く力を育てている



宮脇美智子

答 教師が価値を一方的に教えるのではなく、本質的な問いを繰り返しながら、一人一人が人間としての生き方を主体的に考え抜く力を育てている。

問 近年、生成AIは急速に普及しているが様々な問題も生じている。AI時代においても、自ら考え判断し、責任を負い他者と共に、より良く生きることのできる子どもを育てるためには「何を信じ、どう判断するのか」といった判断の軸を持つための教育が重要と考える。子どもたちにどのような善悪や価値秩序を身につけさせるべきと考えているのか。

問 「宗教的情操教育」についてどこまでが可能であると捉えているか。

答 学校教育では、多様な宗教・信仰を尊重する態度を育てたり、宗教の歴史や文化を客観的に学んだりしている。道徳教育の中で、生命や自然、崇高なものとの関わりといった価値項目を扱っており、人間としての深い感受性を育てる教育を行っている。

答 学校教育では、多様な宗教・信仰を尊重する態度を育てたり、宗教の歴史や文化を客観的に学んだりしている。道徳教育の中で、生命や自然、崇高なものとの関わりといった価値項目を扱っており、人間としての深い感受性を育てる教育を行っている。

答 対話や合意形成の学習を通じて子どもたちの内面に育んでいくべきと考えている。

問 原材料支給補助金制度を今後改善していく案はあるか。

問 本市の道徳教育は、子どもたちが「何が善か」「なぜ他者を尊重すべきか」といった価値秩序そのものを主体的に考える力を育む内容となっているか。

答 今すぐとは言えないが、今後必要に応じて見直しを行うことで、法定外公共物の維持を考えていきたいと思っている。

女性の活躍推進と仕事・子育ての両立支援について 実効性のある施策を関係部署が連携し 力強く推進していく



淀 紀清

問 本市職員における女性管理職登用の現状について

答 本年4月1日現在の女性管理職は全管理職28人のうち10人であり、36パーセント。

問 本市職員における男性の育児休業の取得状況について

答 育児休業等が取得可能となった男性職員9人のうち、取得した職員は7人。

問 本市職員における女性の活躍推進に関する今後の方向性について

答 妊娠中及び出産後における配慮、男性の子育て目的の休暇等の取得の促進、育児休業等を利用しやすい環境の整備などに取り組む。また、様々な制度について周知や情報提供を行う。

ASAトライアングル交流圏の今後について

問 ASAトライアングル交流圏の今後の展望について

答 圏域のガイドマップやホームページの作成、サッカーク大会など、県境を越えた連携を続けてきている。バスツアーの開催など、圏域の交流を深める事業の実施や広域観光の更なる推進などを展望している。

問 3市の地域資源を生かした広域観光の推進について

答 3市を結ぶサイクリングコースの設定や「食」と「体験」をテーマとしたデジタル周遊マップを作成し、広域的な周遊を促してきた。今後も市単位の情報発信だけではなく、3市を一体とする広域観光のスケールメリットをいかすことで、発信力を強化していく。

令和9年度中には、大鳴門橋自転車道の開通も予定されていることから、関西方面からの自転車観光客を呼び込みたい。

旧引田温水プールの利活用と 引田スポーツセンター周辺整備について

民間のノウハウを活用する官民連携手法の導入も検討する



渡邊 堅次

問 旧引田温水プール周辺は、つばさ山温泉のリニューアルオープンが行われ、より一層人々が集いにぎわう引田地区のオアシス的場所になっている。このことから、旧引田温水プールの利活用と引田スポーツセンター周辺整備について、サウンディング調査を実施するなど、検討する必要があると思うが。

答 民間のノウハウを活用する官民連携手法の導入も検討し、教育委員会と連携しながら検討していく。

田の浦野営場の有料化について

問 田の浦野営場は、利用料が無料で予約不要、トイレ設備等も充実し、交通アクセスも良いことから、県外市外の利用者が多い。しかし、今後、維持管

理、修繕費等の財源確保が課題になってくると考えられる。トイレ施設建設費と年間の田の浦野営場の維持管理費用は。また、適正な管理運営のため、有料化する考えはあるのか。

答 トイレは令和3年度に総額2,804万5千円で建設している。維持管理費は年間177万円になっている。現在、維持管理費にふるさと納税の活用を検討している。

千足ダムの桜の維持管理と周辺整備について

問 千足ダムの桜は千足ダム落成記念イベント事業で、合併前の引田町民など多くの方の寄付により植樹された。ふるさと愛が詰まった引田地区の桜の名所であるが植樹から38年経ち荒廃が進んでいる。今後の維持管理の考えは。

答 草刈りを桜の開花前と秋の年2回行い、てんぐ巣病の薬剤散布を年1回実施しており、引き続き維持管理に努める。

本市における小中学校の 空調設備の整備について

電気式が安価なため電気式とする



大藪 雅史

問 本定例会中に開催した民生文教常任委員会をはじめ、執行部から議会へのこれまでの説明によると、今後整備する市内小

中学校体育館の空調の仕様はすべて電気式（EHP）とする意向が非常に強く感じられた。昨年、委員会でガス式（GHP）の空調を採用している体育館を視察し、災害時の優位性だけでなくランニングコストも安価であることを聞いてきた。私が調査したところ、香川県では県立のすべての学校の空調設備は災害時（停電時）にも使え、発電機能もある自立式のガス式にしていこうである。県内市町においてても6自治体がすべてガス式を選択している。その理由は、災害時の避難所になるためと、

ガス式のほうがライフサイクルコストも安いという理由であった。本市のみ、電気式のほうがライフサイクルコストが安いとなっているのはなぜか。大規模災害時におけるリスクの分散といった観点からも停電時にも使える避難所施設が6施設整備する半数でもガス式にする考えはないか。

答 避難所を前提とした空調能力ではなく、通常時の学校の体育授業を想定した能力の空調設備を導入する方向で検討する。災害時想定のがス式の自立運転機についても検討したが設備費維持管理費が高額になるため見送ることとした。

問 他自治体ではすべてガス式が安いとなっているが。

答 本市の試算と、他自治体の試算が異なるという点については前提としている空調能力や稼働時間の違いを含めた総合的な評価の結果の差である。

行政視察

総務建設経済常任委員会

日程 令和8年6月30日～7月1日

稼げる「人」を育む、スタートアップの創出・成長について

福岡県北九州市

北九州市は、戦略的なスタートアップ支援を行っており、人口の維持を重要と考えている。そのため、首都圏からの人口を受け入れるのが最優先課題であり、人口減少を抑制するために、まずは、雇用先を作らなければいけないと考えている。雇用先を作ることによって若者に来てもらい、市内の大学を卒業した後県外に行かないように、市内で就職してもらい、住み続け、人口を増やすのが目的と考えている。

スタートアップの創出・成長とは、市内のスタートアップ企業を生み出し応援していくことである。北九州市は、基本構想・基本計画を作った、「稼げるまち」の実現に向けて、世界を先導する課題解決先進都市へ挑戦している。



飯塚市商業活性化イベント開催補助金について

福岡県飯塚市

飯塚市は、今年度より第2次総合計画の基本計画「商業の振興」における集客力を高める推進事業として、市内外からの誘客につながる新規性・継続性のあるイベントを開催する市内の団体等に補助金を交付している。補助金交付の背景として、中心商店街エリアでは、百縁市、土曜マルシェ、土曜夜市、街道まつりなど、さまざまな既存イベントが開催され、イベント開催中は、人が集まるもののイベント開催時以外は人が集まらないという現状があった。検討の結果、集客力を高め、持続可能な商業振興を図る観点から「商業活性化イベント開催補助金」を創設した。補助金の交付額は、補助率3/4、上限50万円となっている。今年度の申請件数は3件採択件数は2件である。採択金額は71万1千円である。補助対象エリアは、中心商店街エリアからおおむね2km圏内としている。

議会の防災への取組

災害時の避難所運営についての研修

本年1月15日、議員研修会として、一般社団法人南三陸町観光協会から派遣いただいた後藤伸太郎氏を講師に招き、災害時の避難所運営について研修を行いました。研修では、東日本大震災で「被災者」「語り部」「議員」という三つの立場から得た避難所運営と復興に向けた知見をご講演いただきました。

防災訓練の実施

市議会では、防災訓練を年4回、定例会の時期に実施しています。内容としては、アプリを用いた安否確認の実施や議会災害対策会議（オンライン会議）の模擬実施、議場からの避難訓練などです。

直近では、6月22日の本会議終了後に、執行部と合同で議場からの避難訓練を行いました。

今後、災害時における議会機能の維持を図り、市民生活を守るため、議会として防災対策へ取り組んでまいります。



定期的に防災訓練を実施しています(6月22日)



研修で防災への理解を深めます(1月15日)

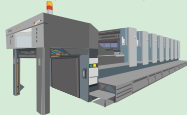
GOAL

納品・配布

市広報と一緒に
お届けします。

印刷

印刷業者にて
印刷します。



校了

正副議長と最終
確認を行い、校
了になります。



編集会議4回目

最終調整。また、
次回号の表紙や
特集、議会広報
広聴特別委員会
としての取組に
ついて意見交換
を行います。



編集会議3回目

前回修正した箇
所が正しく修正
できているかを
中心に確認しま
す。



編集会議2回目

最初の制作デー
タ(初校)をもと
に、会議録と内
容の相違がない
かをチェックし
ます。



紹介します! 

「議会だより」が できるまで

議会だよりをどのように
作っているかを紹介します



私たちが作っています

議会だよりは議会広報広聴特別委員会の委員
を中心に議員自ら作成・編集しています。



START

表紙、特集記事の検討

前回号の編集会議の段階で、次回号に向けた構
成のアイデアやその他の検討事項について協議
します。

編集会議1回目

各議員から提出
された原稿をも
とに誤字脱字や
内容、文字数な
どについて確認
します。紙面構
成について最終
確認します。



令和8年東かがわ市議会 第3回(6月)定例会 議員の賛否表

議員名		議決 月日	議決 結果	賛 成	反 対	小 松 千 樹	堤 弘 行	淀 紀 清	安 倍 正 典	久 米 潤 子	田 中 久 司	工 藤 潔 香	宮 脇 美 智 子	山 口 大 輔	大 田 稔 子	田 中 貞 男	橋 本 守	渡 邊 堅 次	東 本 政 行	大 藪 雅 史
議案名																				
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（東かがわ市税条例の一部を改正する条例）	6/3	承認	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（東かがわ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	6/3	承認	13	2	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	○
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度東かがわ市一般会計補正予算（専決第2号））	6/3	承認	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度東かがわ市介護保険事業特別会計補正予算（専決第1号））	6/3	承認	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	東かがわ市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	6/3	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第2号	東かがわ市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	6/3	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第3号	東かがわ市公共施設使用料等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	6/23	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第4号	令和8年度東かがわ市一般会計補正予算(第1号)について	6/23	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第5号	令和8年度東かがわ市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について	6/3	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	東かがわ市教育委員会委員の任命について	6/3	同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	令和8年度東かがわ市一般会計補正予算(第2号)について	6/23	可決	12	3	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	●	●
議案第8号	財産の取得について （小型動力ポンプ付積載車購入）	6/23	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	東かがわ市議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	6/3	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

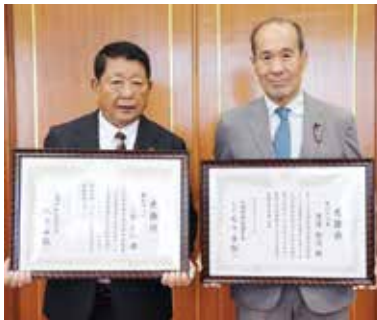
・「○」は賛成、「●」は反対した議員です。
・議案第6号 東かがわ市教育委員会委員の任命について = 山本 勝博 氏

全国市議会議長会15年表彰



大田 稔子 渡邊 堅次

全国市議会議長会感謝状



工藤 正和 渡邊 堅次

四国市議会議長会24年表彰



橋本 守 東本 政行

詳しくは
インターネットで議会中継を録画配信中!!

東かがわ市議会中継

検索

議員ごとの配信は2次元コードから

一般質問全項目

堤 弘行

・東かがわ地域経営機構等との三者連携協定について
・こども園の地震対策強化について
・市役所窓口開庁時間の短縮について

工藤 潔香

・中学校部活動の地域展開について

田中 貞男

・県立三本松高等学校について
・地域通貨カードを作る考えは
・中学校の修学旅行について
・高齢者の見守りに関する警察との連携について

小松 千樹

・子どもの遊び場について

東本 政行

・旧白鳥温泉の再開に合わせたバス路線の復活について
・学校での主催者教育について
・予備自衛官等兼業特例法成立後の市職員への影響について
・市の施設におけるトイレ設置数の男女差の適正化を

大田 稔子

・ファーストグループ事業の再開について

・芝桜の名所について

・改正地域公共交通活性化再生法について

橋本 守

・体験型・探求型の校外学習の実施について

田中 久司

・東かがわPayの成果検証と今後の展開について
・ため池の防災管理及び水利組合の解散に対する対応について

山口 大輔

・ふるさと納税における子ども・子育て支援及び若者支援の明記について
・家事支援の国家資格化による本市の介護・福祉・子育て施策への影響について
・HILMOの将来構想と地域経営戦略について

久米 潤子

・主権者の権利を守る支援のあり方について
・「手話リンク」の導入について
・認知症ケア技法「ユマニチュード」の普及と啓発について

宮脇 美智子

・AI時代における情報モラル教育と道徳教育の在り方について
・持続可能なまちづくりの観点からの里道・農道等の維持管理について

淀 紀清

・女性の活躍推進と仕事・子育ての両立支援について
・ASAトライアングル交流圏の今後について

渡邊 堅次

・ワーサンと安戸池周辺の整備について
・旧引田温水プールの利活用と引田スポーツセンター周辺の整備について
・田の浦野営場の有料化について
・千足ダムの桜の維持管理と周辺整備について

大藪 雅史

・本市における小中学校体育館の空調設備の整備について

※太字のものを今回紙面に掲載しています。

議会報告会のご案内

日時

令和8年

10月18日(日)

13時00分～14時30分

会場

- ・引田 つばさ交流センター(多目的室)
- ・白鳥 交流プラザ(1階 第1・2市民会議室)
- ・大内 ひとの駅さんぽんまつ(1階 ユーティリティスペース)

3会場とも同日同時開催いたします。

内容

- 議会報告
- 意見交換

報告の後に、テーブルごとに分かれてご意見を伺います。

